

事業費補助金調査票(表)

補助金名	森林・山村多面的機能発揮対策事業補助金
------	---------------------

担当課	経済部 農政課					
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業	
	01	06	01	02	25	— 55
事業名	森林保全事業					
新規・継続の別	継続					
補助・単独の別	市単					
補助の種類	事業					

R2実施計画額	0	千円
R1 予算額	60	千円
H30 決算額	60	千円
H29 決算額	—	千円
H28 決算額	—	千円
H27 決算額	—	千円
H26 決算額	—	千円

事業の趣旨・目的	森林所有者や地域住民等が協力して行う森林の有する多面的機能(水源の涵養や生物多様性の保全など)を発揮させるための保全活動及び山林地域の活性化に資する取組に対し支援する。	補助対象者	【補助対象者】 ・千葉県里山林保全整備推進地域協議会
開始年度	平成 30 年度	経費	【補助対象経費】 ・森林の整備に係る経費
根拠法令等	(市) 成田市森林・山村多面的機能発揮対策補助金交付要綱 (国) 森林・山村多面的機能発揮対策実施要綱、要領、交付要綱 (県) 千葉県森林・山村多面的機能発揮対策交付要綱、実施要領	補助率	【補助率】 ・活動推進費:18,750円/団体 ・里山林整備:20,000円/ha ・侵入竹防除・竹林整備:47,500円/ha ・森林資源利用:20,000円/ha ・森林機能強化:100円/ha (国、県分については市を経由しない)
留意事項		補助率	【国県等の補助率】 国:活動推進費:112,500円/団体 里山林整備:120,000円/ha ほか 県:活動推進費:18,750円/団体 里山林整備:20,000円/ha ほか 【近隣自治体の補助率】 各市町が同一基準で実施
決算内訳	平成 30 年度決算額等 (単位:千円)		成果指標
	金額	件数	割合
全体事業費	486		
うち市補助金	60	1	12.3%
うち国補助	366		75.3%
うち県補助	60		12.3%
自己負担	0		0.0%
	成果指標:実施面積 (単位:ha)		
	年度	数値	
	平成30年度	2.1	
	平成29年度	—	
	平成28年度	—	

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興, 雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	成田市総合計画の基本目標に掲げる、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	山村地域の過疎化や高齢化により森林の荒廃が進む中で、森林所有者や地域住民が行う森林整備が求められている。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	特定財源控除後の市補助率は1/2以下である	はい	
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	普通	
明確性	個別の規則が整備されている	いいえ	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	はい	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	はい	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	はい	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	実施面積 H28: - H29: - H30: 2.1ha
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	令和元年度も取組実績があり、地域住民が行う森林整備の機運醸成に寄与している。
補助対象外経費	成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でない認められる経費	はい	
課題			
最終評価	維持継続		
評価者所見	森林所有者の高齢化や林業の不振により、荒廃した森林が増加する中で、森林の有する多面的機能(水源の涵養や生物多様性の保全など)の高度発揮や地域社会の健全な発展のため、森林の適切な管理が求められている。令和元年度も取組実績があり、地域住民が行う森林整備の機運醸成に寄与している。補助水準についても各市町が同一基準で実施しており適正であることから、本市においても、今後も継続して補助事業を実施する。		